

# 第29回定期中央本部大会 職場討議資料

運動方針  
(案) 抜粋

2017年7月5日(水)~7日(金) 於:ホテルグランヴィア岡山

## 第29回定期中央本部大会スローガン(案)

メインスローガン

### 創造・参加・実践

結成25年の歴史に学び、  
安全を基礎に次代に責任ある運動を進めよう

サブスローガン

1. 安全提言を活用した参加型の運動を進め、次期「安全計画」の策定に参画して職場から安全を築こう!
2. 分会活動とコミュニケーションを活性化し、組合員に信頼される組織の強化と運動の継承を進めよう!
3. 労働力不足をはじめとする課題に向き合い、組合発の企画提案運動を通じて展望を拓こう!
4. 男女平等参画、ワーク・ライフ・バランス、働き方改革を推進し、充実した職場と豊かな人生を築こう!
5. 地域との対話と参加を大切に、鉄道の特性を活かした地域活性化を図ろう!
6. 政治への理解と参加を進め、働く者の立場から政策を実現し将来を築こう!



写真は昨年度の大会の様様

**JR WEST**  
**西労組**  
**UNION**  
**ニュース**  
**No.11**  
(通算) **No.507**  
2017.6.19  
JR西労組ホームページ  
(http://www.jrw-union.gr.jp)

1991年12月6日 結成  
**JR 25 西労組**

西日本旅客鉄道労働組合  
本部 〇530-0012 大阪市北区芝田二丁目一丁目一八号  
TEL 〇6-6375-1989 (大阪急ビル9F)  
TEL 〇6-6375-1171 (五五代)  
FAX 〇6-6375-1174  
FAX 〇6-6375-1177  
●発行責任者/宮野山 勇市 五三三  
●編集責任者/宮野山 馬朗

## 運動の基調

### 創造・参加・実践

結成25年の歴史に学び、  
安全を基礎に次代に責任ある運動を進めよう!

1 安全提言を活用した参加型の運動を進め、  
次期「安全計画」の策定に参画して  
職場から安全を築く

福知山線列車事故から12年が経過し、伯備線列車事故から11年が経過しました。列車事故防止準則(在来線)の導入やヒューマンエラー非懲戒など、安全文化の確立に向けた仕組みやルールの構築に取り組む中、本年2月11日に糸崎駅構内で列車脱線事故が発生し、現在の安全考動計画2017が始まってから2件目の死亡労災となつてしまいました。

職場の安全が全ての基本であるという認識のもと、「JR西労組安全提言」を活用して、それぞれの職場や安全衛生委員会などで、議論する運動をあらためて進めていかなければなりません。次期安全計画を策定する本年は、分会やグループ労組から集約したアンケートや、機関会議での意見・発言など職場からの声を集約し、これまでの取り組みの成果と課題を整理し、会社との協議を通じて、より踏み込んだ実効性の高い新計画の策定と実践につなげます。

2 分会活動とコミュニケーションを活性化し、  
組合員に信頼される組織の強化と  
運動の継承を進める

昨年12月6日、JR西労組は結成25周年をむかえました。JR入社が6割を超え、各級機関役員世代交代が進む中、結成25周年記念集会において、JR西労組運動の目的と今後の課題やあるべき姿についてまとめた「次代の運動指針」を提起しました。わかりやすい解説を加えた冊子を作成して、JR西労組運動の共有化を図ります。多様化する職場の課題を的確に把握して、会社に提起することのできる組織を作りあげるためには、組合員



とのコミュニケーションを重視した分会活動の充実に取り組む、魅力と求心力のあるJR西労組運動を全員参加で作り上げなければなりません。とくに本年度はシニア・シニアリーダー組合員と女性組合員の運動への参加拡大に力を入れることとします。そして、引き続き、「次代への運動の継承」を最重点課題に据え、労働組合の原点である助け合いの精神を発揮し、組合員に寄り添い、職場の課題は職場で解決できる次代のJR西労組役員の育成に取り組めます。

5 地域との対話と参加を大切に、  
鉄道の特性を活かした地域活性化を図る

働く者の視点で提言を策定し、実現していく「職場のあり方提言委員会」を、引き続きJR西労組の企画提案運動の柱として位置づけ、本年も労使協議を進めます。懸案となっている契約社員の縮小、NSを経ない実務重視のリーダー育成や、契約社員制度解消に向けた課題解決、シニア・シニアリーダー社員の課題などについて具体的に議論を行います。

3 労働力不足をはじめとする課題に向き合い、  
組合発の企画提案運動を通じて展望を拓く

また、賃金・昇進制度が2000年の抜本改正から17年が経過していることから、職制の見直しやJR入社組合員の定年延長などを含め、制度改革を視野に入れて職場の課題を整理し、構造的な問題の洗い出しと解決に向けた議論を行うこととします。さらに、労働力不足の問題はJR西日本グループにも影響を与えつつあり、要員需給の逼迫が進み、働き方改革の推進が求められています。業務の取捨選択や必要な効率化の推進、グループ会社との関係の検討など、職場の実態と課題を把握し、取り組むとともに、短期と中長期に分けて提言を整理し、改善に取り組んでいきます。

4 男女平等参画、ワーク・ライフ・バランス、  
働き方改革を推進し、充実した職場と  
豊かな人生を築く

男性も女性も、育児や介護・病気などの人生の様々な

6 政治への理解と参加を進め、  
働く者の立場から政策を実現し将来を築く

私たちの生活が向上するためには労使関係で解決できる課題の他に、税や社会保障をはじめとして、国や地方自治によってしか改善できない課題がたくさんあります。昨年は北陸新幹線ルート問題や税制改正要望の実現など、私たちの将来に関わる多くの政治的課題に取り組む、成果をあげてきましたが、本年も残された北陸新幹線の財源問題や並行在来線の問題、さらに地域活性化に関わる問題など具体的な課題について、JR連合と連携して対応していきます。とくに若い組合員の投票率が低く政治に対する意識が希薄であることに問題意識を持ち、政治との組合員の政治活動への理解を広げながら「交通政策をすすめる会」の加入拡大に取り組めます。

課題と、仕事を両立していくことができる職場環境を整備することは組合員の生涯生活設計を行う上で非常に重要なことです。均衡均等待遇実現に向けた「同一労働同一賃金」や、長時間労働規制など、法改正の動きへの対応も進めていかなければなりません。組合員の意見を反映した具体的な課題の抽出と改善の提案を行い、具体的に進展させていきます。また、JR西日本においても、女性やシニア社員はもろろんのこと、中途採用者や留学生採用など、社員の多様化が進み、それに伴って組合員のニーズも多様化しています。近年開催しているライフプランセミナーの取り組みをはじめとして、多様化するニーズに合わせた組合員の自立した生活設計への支援をより強化していきます。